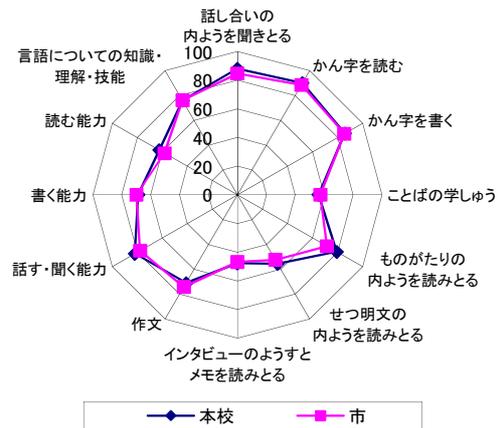


宇都宮市立富士見小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内よを聞きとる	88.0	84.6
	かん字を読む	90.0	88.6
	かん字を書く	85.8	85.4
	ことばの学しゅう	56.1	57.3
	ものがたりの内よを読みとる	79.4	71.5
	せつ明文の内よを読みとる	55.5	52.5
	インタビューのようすとメモを読みとる	47.7	46.8
	作文	71.0	74.2
観点別	話す・聞く能力	82.1	77.8
	書く能力	68.7	69.9
	読む能力	62.5	58.2
	言語についての知識・理解・技能	75.9	76.0



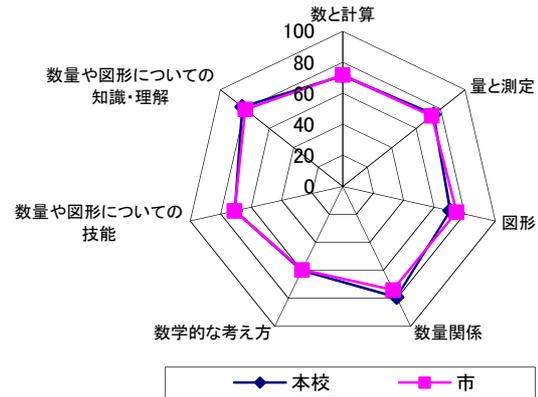
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内よを聞きとる	・平均正答率は88.0%であり、宇都宮市の平均正答率を上回っている。話の中心に気を付けてどのような内容か詳しく聞き取ることができている。音声言語の中では話題に沿った質問をすることが苦手なようだが、それでも正答率は72.3%と宇都宮市の平均を超えている。	・国語の授業やその他の教科の学習などで、友達の話や意見を聞いて、それに関連した質問をしたり感想を言ったりする機会を設け、継続的に指導する。
かん字	・平均正答率は87.9%であり、宇都宮市の平均正答率を上回っている。漢字の読みについては90%とよく理解できている。2学年の漢字の書きについては、平均正答率が85.8%で、79.1%と少し低い項目もあった。	・現在習っている漢字はもちろん、既習の漢字も、朝の学習や家庭学習において繰り返し練習することで、定着を図っていく。また、どの教科においても、ノートを書き写す時など、習った漢字については、しっかりと漢字で書けるように継続的に指導する。
ことばの学しゅう	・平均正答率は、56.1%であり、宇都宮市の平均正答率を下回っている。漢字の部首については概ね理解している。しかし、国語辞典の使い方やローマ字を読むことについては、平均正答率が52%程度と理解が不十分であった。	・国語辞典の使い方を確認させるとともに、国語の授業やその他の授業で、意図的に国語辞典を使用させることで、今後も国語辞典の使い方に関心させ、その定着を図っていく。ローマ字については、パソコンを使用した学習時にローマ字入力の実践をするなどして、ローマ字の定着を図っていく。
ものがたりの内よを読みとる	・平均正答率は、79.4%であり、宇都宮市の平均正答率を上回っている。登場人物の気持ちを読み取ることが概ねできている。しかし、場面の移り変わりを読み取ることが不十分であった。	・学級文庫の充実を図ったり、図書室を積極的に利用したりして、児童が興味を持って物語文に接する機会を多く作るようにする。また、国語の時間だけでなく、朝の読書の時間を大切にして、本に静かに向き合い、その世界にひたり感動できるようにする。おすすめの10冊などを紹介して、良書を読むようにさせる。特に、国語の時間においては、場面の様子を細かく読み取ったり、あらすじを確認しながら、読み進めるようにしていく。
せつ明文の内よを読みとる	・平均正答率は、55.5%であり、宇都宮市の平均正答率を上回っている。細かい点に注意して、文章を読み取ることは概ねできている。文と文とのつながりを考えながら文章を読み取ったり、文章の要点に注意して読み取ったりすることが不十分であった。	・説明文の基本的な段落の構成や文章の要点、文と文とのつながりに注意しながら読み取っていく練習をする。また、国語の授業やその他の教科の学習の際には、段落の構成や、文と文とのつながりに気をつけて説明文を書くように注意して継続的に指導していく。そして、説明文の楽しさにふれさせ、図書館などで自分で興味のある内容についての説明文を読む機会を作っていくようにしていく。
インタビューのようすとメモを読みとる	・平均正答率は47.7%であり、宇都宮市の平均正答率を上回っている。読み取った情報の共通点や相違点をとらえて整理することは概ねできていた。しかし、与えられた情報を正しく読み取り、必要な事柄を補うことが不十分であった。	・国語の時間の言語学習である「言葉の特徴やきまり、文字の学習」の際に、主語、述語、修飾語、指示語などの働きや種類を確認し、身近な言葉でつかえるように指導していく。また、社会や総合的な学習の時間などほかの教科でも、収集した数多くの資料の中から必要なものを選んでまとめていく活動を取り入れて、取捨選択する力を身につけさせていく。
作文	・平均正答率は、71%であり、宇都宮市の平均正答率を下回っている。クラスの新聞にのせる「3年生でがんばった行事や勉強」についての文章を書く設問である。書くこととすることの中心を明確にしたり、理由を挙げて書いたりすることは概ねできていた。しかし、2段落構成で文章を書くことができずに、段落をつけないで文章を書いてしまう解答があった。	・学期の目標の作文や、学校行事の作文等を書かせる時に、作文の正しい書き方について確認するとともに、書きたい内容を整理して、順序に気をつけて段落をつけて書くように指導していく。また、文章を書くことに抵抗を持たずに、書く意欲が持てるような題材を与えるように工夫する。また、友達の作文を読みあい、よかったところを話し合うなどの活動を取り入れながら指導していく。

宇都宮市立富士見小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	71.4	71.8
	量と測定	74.3	72.8
	図形	70.5	74.7
	数量関係	79.3	74.1
観点別	数学的な考え方	60.0	59.7
	数量や図形についての技能	70.6	70.9
	数量や図形についての知識・理解	82.1	79.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>・数と計算の領域は71.4%で、宇都宮市の平均71.8%を僅かに下回った。数直線上の数を読み取ったり、分数で大きさを表す問では、宇都宮市の平均より大きく上回った。しかし、わり算の立式では、宇都宮市の平均より10ポイント低かった。</p>	<p>・基礎的な計算については、今後も授業や朝の学習、宿題等の家庭学習で繰り返し行っていく。かけ算の筆算やわり算、分数等につづいては、再度、きまりや計算の仕方、数の構成を確認し習熟を図っていききたい。</p>
量と測定	<p>・量と測定の領域は74.3%で、長さを推察する設問では宇都宮市の平均より6.2ポイント高い正答率であった。また、2つの時刻の間の時間を求める問題では、宇都宮市の平均より6ポイント高い結果であった。</p>	<p>・今後も具体的な操作活動を多く取り入れながら基礎的な知識を理解させ、様々な問題を解くことで理解を深められるようにしていきたい。</p>
図形	<p>・図形の領域は70.5%で宇都宮市の平均を下回った。はこの形では長さの等しい辺の数の理解が5.9ポイント低い正答率で、直方体から写し取ることができる面の理解については2.9ポイント低い正答率だった。</p>	<p>・今後も引き続き具体的な操作活動を取り入れながら、理解を深められるようにしていきたい。</p>
数量関係	<p>・数量関係の領域では79.3%で概ね満足できる状態といえる。棒グラフから人数を読み取る問題では宇都宮市の平均より2.1ポイント上回った。また、□を使った乗法の式にあった文章問題を選ぶ問題では、14.3ポイントと大きく上回った。</p>	<p>・棒グラフから人数を読み取る問題は、今後他教科でも使われる機会が増えていくので、丁寧に扱いながら指導していきたい。□を使った式では、授業や朝の学習、家庭学習等繰り返し行い、いろいろな問題を解くことでさらに習熟を図っていききたい。</p>